

2022年6月27日
株式会社 NTTドコモ
独立行政法人都市再生機構

団地の屋外環境におけるピンポイント情報を LINE アプリで配信する実証実験を開始 ～横浜市・金沢シーサイドタウンにおいて センサーや AI カメラで、天候や混雑情報を「見える化」してお知らせ～

株式会社 NTTドコモ(以下、ドコモ)と独立行政法人都市再生機構(以下、UR 都市機構)は、2022年7月4日(月)から12月23日(金)^{*1}まで、金沢シーサイドタウン並木一丁目第二団地(横浜市金沢区)(以下、並木第二団地)において、「団地の屋外環境におけるピンポイント情報の見える化」の実証実験(以下、本実証実験)を実施します。(別紙1)

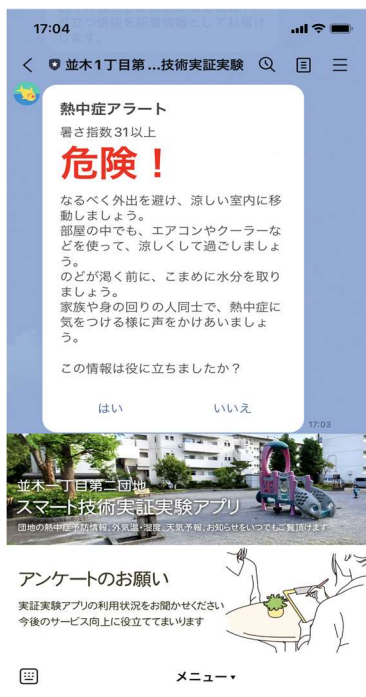
本実証実験では、並木第二団地内の UR 賃貸住宅にお住まいの方を対象に、団地内に設置している各種センサー、AI カメラで計測された情報を元に、Web アプリを用いて団地の屋外環境および混雑状況の見える化を行います。

また、LINE[®]アプリを用いて本実証実験用の公式アカウントから熱中症アラートや降雨通知配信、行動経済学の「ナッジ^{*2}」を活用したメッセージを配信し、お住まいの方の潜在ニーズに働きかけることで、より快適で健康な生活が送れるように後押しします。Web アプリおよびメッセージ配信で使用する計測情報は、ドコモの「IoT アクセス制御エンジン^{*3}」を活かして取得します。これら一連の取り組みは、UR 都市機構初の試みです。

本実証実験を通して、団地の屋外環境情報の見える化に対する受容性や有用性(熱中症アラートがどのように役立つかなど)を確認し、QOL(生活の質)向上を図る方策の一つとして UR 賃貸住宅の豊かな屋外環境を享受するためのスマート技術の導入に向けた検討材料とします。

<LINE アプリの通知画面と Web アプリの表示イメージ>

〔LINE アプリ/熱中症アラート〕



〔Web アプリ/団地内温熱環境〕



〔Web アプリ/団地内公園利用状況^{*4}〕



LINE 公式アカウントメニューから Web アプリにリンク

＜アプリにより提供する情報の例＞

- (1) 熱中症予防のため、室内の空調温度設定や外出の判断の参考になる「熱中症アラート」
- (2) 傘の要否や洗濯物の取り込みの役に立つ「雨の降り始め情報」
- (3) 公園利用や外出の参考になる「公園の混雑状況」
- (4) ビールがおいしい日、洗濯物が乾きやすい日などの「日々の生活情報」

本実証実験は、2020年12月8日(火)にドコモとUR都市機構が締結した、『スマート技術の導入と環境整備に係る共同研究協定』(以下、本共同研究)に基づくUR賃貸住宅におけるスマート技術の活用に向けた、さまざまな実証の検討を進める中の取り組みの一つです。本共同研究を進めるにあたり、並木第二団地に第5世代移動通信システム(以下、5G)の通信環境を整備し、あわせて5Gを利用したWi-Fiによる通信環境を団地屋外に構築しています。

UR都市機構では、5GやAI・IoTなどのスマート技術の活用により、社会課題の解決やUR賃貸住宅の魅力向上をめざして研究しているところです。(別紙2)

また、本実証実験は、ドコモがパートナーとともに、人々の生活がより豊かになる技術の価値検証を行う取り組み「ライフスタイル共創ラボ^{※5}」の一環です。

ドコモとUR都市機構は、今後もさまざまな技術検証や居住者サービスのDX実証を、本共同研究実証フィールドで進めてまいります。

※1 実証の終了時期は変更になる可能性があります。

※2 「ナッジ」とは、「そっと後押しする」という意味を持つ行動経済学用語であり、人々が世間一般的に望ましいとされる行動(例:健康促進、疾病予防)を自発的に選択できるよう促す取り組み全般のことです。

※3 ドコモが開発した、さまざまなメーカーのIoTデバイスの遠隔管理やデータ蓄積が可能なクラウド基盤です。

IoTアクセス制御エンジン Symphony 開発者向け支援サイト : <https://docs.dsymphony.com/>

※4 人がいない背景に人物をアバターイメージで表示するものです。人物が特定されることはありません。

※5 「ライフスタイル共創ラボ」とは、ドコモやパートナーが持つ複数の技術やアセットを組み合わせ、人々の生活がより豊かになる技術の価値検証を行う取り組みです。

ライフスタイル共創ラボ : <https://smartcity.ad.at.nttdocomo.co.jp/index.html>

* 「LINE」は、LINE株式会社の登録商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社NTTドコモ クロステック開発部 システム企画担当 TEL: 03-5156-3958	独立行政法人都市再生機構 本社 技術・コスト管理部 企画課 TEL: 045-650-0650
第一法人営業部 ビジネスプロデュース担当 TEL: 03-5156-3458	本社 広報室 報道担当 TEL: 045-650-0887

「団地の屋外環境におけるピンポイント情報の見える化」の実証実験の概要

1 目的

UR 賃貸住宅にお住まいの方の QOL(生活の質)の向上を図る方策検討の一つとして、団地の屋外温熱環境や団地内公園の利用状況などの情報を、実際に団地にお住まいの方が、ご自身のスマートフォンで確認することができる「団地の屋外環境の見える化」について、受容性や有用性を確認します。今後、UR 賃貸住宅の豊かな屋外環境を享受するためのスマート技術の導入に向けた検討材料にすることを目的としています。

2 実証実験期間

2022年7月4日(月)～2022年12月23日(金)^{※1}

3 実証実験内容

実証に参加を希望される並木第二団地にお住まいの方を対象に、並木第二団地内に設置している気象センサー、環境センサー、AIカメラにより計測された情報を、個人で所有されているスマートフォンから実証実験用の Web アプリにアクセスいただくことにより提供します。Web アプリには、実証実験用の LINE 公式アカウントにて表示するメニュー画面のリンクよりアクセスします。

実証に参加された方を対象としたアンケートなどにより、屋外利用に関する行動に影響を与えるかなどの効果を検証します。

(1) 7月から提供を予定しているコンテンツ

- ① 団地屋外の温熱環境(温度、湿度、風速、雨量)
- ② 熱中症アラート
- ③ 降雨通知
- ④ 天気予報・生活情報(株式会社ライフビジネスウェザーより提供)

(2) 8月^{※2}以降に提供を予定しているコンテンツ

- ① AIカメラによる団地内公園(15街区・18街区)の利用状況^{※3}
- ② その他(検討中)

※1 実証の終了時期は変更になる可能性があります。

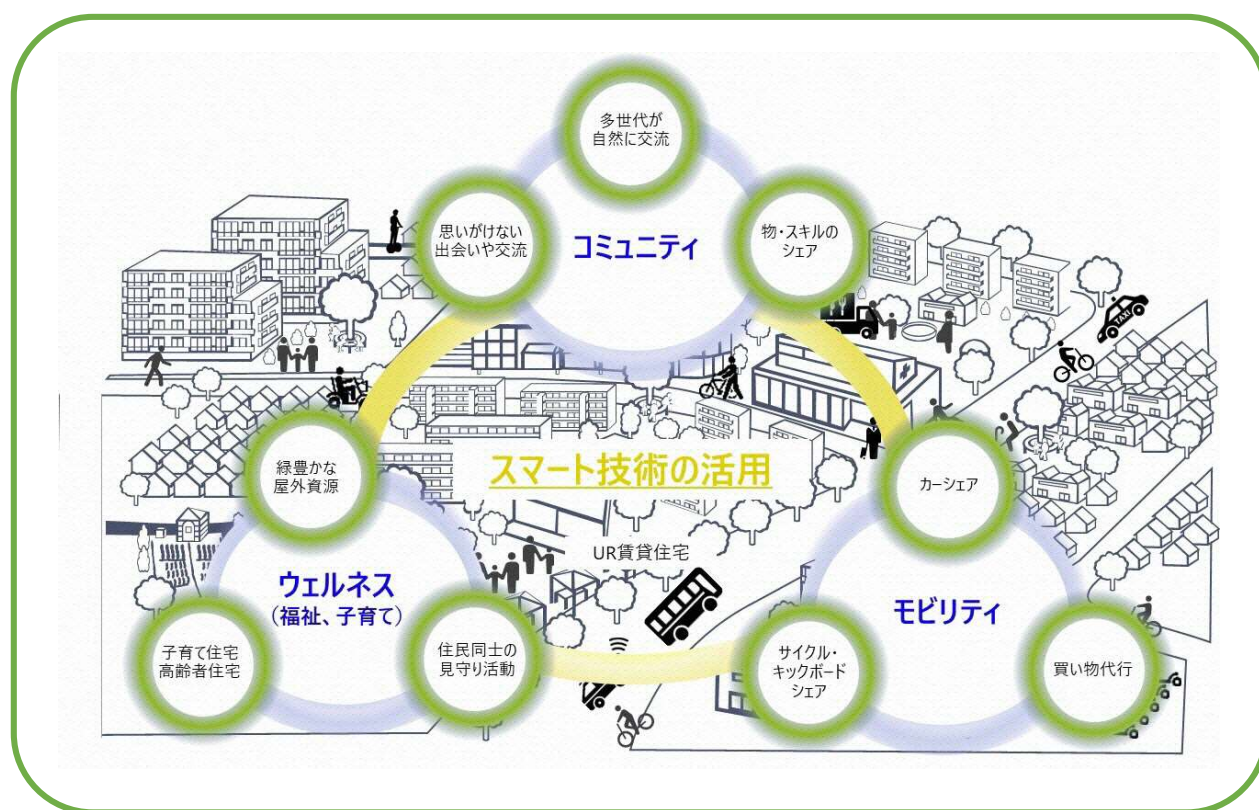
※2 開始時期は変更になる可能性があります。

※3 人がいない背景に人物をアバターイメージで表示するものです。人物が特定されることはありません。

UR 都市機構がめざすスマート技術の活用コンセプト

少子高齢化、暮らしや働き方の多様化、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした新しい生活様式、環境負荷低減などの社会課題に対し、AI・IoT などのデジタル先端技術を活用した対応や改革・創造が求められています。これらスマート技術の活用は、UR における社会課題の解決と QOL(生活の質)の向上による、新たな価値創造と持続的成長の実現に有効であると考えられます。

UR 都市機構は、スマート技術の活用により団地や地域が持つ潜在的な力を引き出し、お住まいの方ひとりひとりのライフスタイルに合わせたスマートサービス(コミュニティ、ウェルネス<福祉、子育て>など)を提供することで、団地の魅力が向上し団地暮らしの楽しさが発展していくことをめざしていきます。



<UR 都市機構がめざすスマート技術の活用 イメージ>

共同研究の概要

1. 目的

UR 賃貸住宅におけるスマート技術の実装化に向けた技術検証と確立を目的に、さまざまな技術導入やサービス提供などの実証実験に取り組む共同研究を行います。

2. 実施期間

2020年12月8日(火)から2023年9月29日(金)

3. 実施場所

UR 賃貸住宅 金沢シーサイドタウン並木一丁目第二団地 他

所在地：神奈川県横浜市金沢区並木1

管理開始：1980年

管理戸数：340戸



4. 主な実証実験内容

5G や AI・IoT といったデジタル先端技術を活用して、以下の実証実験を行っています。

主な実証実験内容	
1	団地におけるスマート技術活用に係る基礎的技術検証
2	団地内の自動配送・遠隔操作ロボットによる配送実証実験
3	団地屋外の利用状況・環境などのセンシング